

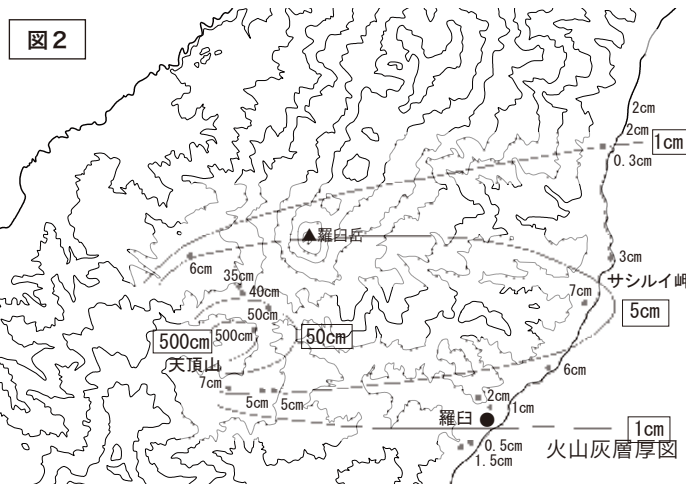
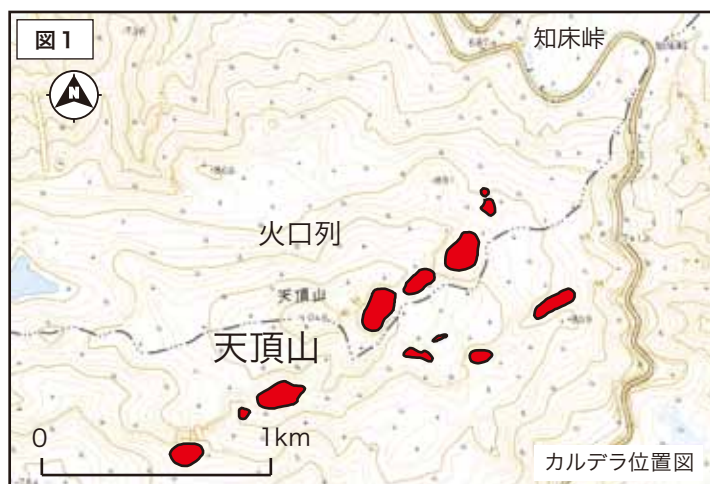
水蒸気噴火の天頂山火山



天頂山カルデラ



羅臼岳からの天頂山



御嶽山は9月27日の昼に水蒸気噴火を起こし、50数名の方が亡くなり現在もお不明の方がおられます。水蒸気噴火はマグマの熱で地下水が気化して水蒸気になり、圧力が急激に大きくなった爆発的な噴火です。爆発的な噴火は火口付近の岩石を砕いて吹き飛ばし、噴石や細粒の泥状火山灰が積もります。御嶽山の噴火でも噴石の直撃で亡くなった方が多いようです。

知床半島には噴火により山体が崩壊した知床硫黄山、頂上に溶岩ドームを持つ羅臼岳、火口湖(カルデラ)が並ぶ天頂山(図1)と多様な火山地形が観察されます。羅臼岳の南西方向に隣接する天頂山は今から約1,900年前に水蒸気噴火をしています。火口付近には5mもの火山噴出物が堆積し、今回の御嶽山噴火同等以上の規模であったと推察されます。偏西風が強い季節に噴火したようで、火口東側の知床峠には約50cm、さらに東の羅臼町の海岸には7cmの火山灰が堆積していますがウト口側には降っていないようです(図2)。知床の多くの噴火堆積物は鉱物が明瞭に観察されるマグマ起源ですが、天頂山の噴火堆積物は御嶽山と同様に泥状の形態をしています。

道内では十勝岳など9火山が常時観測火山として24時間体制で監視されています。天頂山火山には高温の噴気口は見つかっておらず、現時点では常時観測火山には入っていません。水が湧き出している場所には硫黄が沈殿し、周囲には火山特有な匂いを放っています。噴火が近づくと湧水の温度が高くなり、硫黄臭さが強くなるでしょう。

天頂山は標高が低く登山道が整備されていないためなかなかその姿を見ることができず、なじみの薄い火山です。火山調査も遅れ知床の中では一番遅く3年前に活火山に選定されています。羅臼岳の頂上からは西方に水をたたえたカルデラを眼下に一望することができますので、羅臼岳登山の際は天頂山火山にも注目してください。(合地信生)

発行 知床博物館協力会 2014.10.25
099-4113 北海道斜里郡斜里町本町49
斜里町立知床博物館内
TEL: 0152-23-1256 FAX: 0152-23-1257
NEW! <http://shiretoko-ms.sakura.ne.jp/>